令和4年度　中山間地域等直接支払制度　農業生産活動等の体制整備の実施状況

⑦活動内容（体制整備単価）

農業生産活動等の体制整備として取り組むべき事項

| 集落協定名 | （交付単価区分）体制整備単価 | Ⅰ集落戦略の作成状況
「1」:集落において作成中
「2」:集落から市町村に提出があり、市町村から指導助言を実施中
「3」:要件を全て満たす集落戦略が市町村に提出済み | Ⅱ　集落戦略作成に向けた活動状況
年齢階層別、後継者の状況が把握できる地図の作成 | 農地保全活動等を実施する範囲等を記載した地図の作成 | 話し合いの開催 | その他 | Ⅲ　集落戦略の内容
協定農用地の将来像
その他の具体的な内容 | 協定農用地の将来像の合計 | 管理者が引き続き耕作 | 後継者が耕作を継承 | 担い手等に引き受けてもらう(受け手が決まっている) | 担い手等に引き受けてもらうことを希望(受け手が決まっていない) | 中間管理機構への貸し付けを希望 | 草刈り等管理のみ | その他 | 協定農用地の将来像を踏まえた集落の現状
該当事項の合計 | 担い手が確保できており、耕作を継続 | 担い手が確保できているが、全て委託希望は受けられない | 担い手が確保できていない | 耕作を継続したいが、耕作条件の悪い農地がある | 耕作を継続したいが、農業所得が低い | 耕作を継続したいが、法面や水路・農道等の管理が過重な負担となっている | 鳥獣被害が深刻であり、耕作意欲が減退している | 集落の自治（コミュニティ）機能が低下しており、生活に支障・不安が生じている | その他 | その他の内容 | 集落の現状を踏まえた対応の方向性
該当事項の合計 | 耕作放棄の懸念はなく、集落の課題もないことから、対策は不要 | 協定内で担い手を育成・確保 | 協定外で担い手を確保 | 基盤整備等により耕作条件を改善 | 農産物の高付加価値化により所得の向上を図る | 新たな作物の導入により所得の向上を図る | 省力化技術の導入や外注化等により労働負担の軽減を図る | 耕作継続が困難な農用地の林地化 | 放牧利用による農用地の管理 | 鳥獣被害防止対策の実施 | 集落の自治（コミュニティ）機能の強化 | その他 | その他の内容 | 具体的な対策に向けた検討
該当事項の合計 | 特に懸念はなく、協定参加者で実施していく | 協定参加者だけでは難しいが外部（県・市町村含む）からの助力を得たい | 他の協定との広域化を考えたい | 中山間地域等直接支払交付金の加算措置を活用したい | 対策に活用可能な補助事業等を紹介して欲しい | その他 | その他の内容 | 農業生産活動等の継続のための支援体制
該当事項の合計 | 農地所有適格法人が支援する | JAが支援する | 集落営農組織が支援する | 農業者が支援する | 協定参加者で役割分担しつつ、農用地の維持管理を行う | その他 | その他の内容 | 備考欄 |
|---|---|---